

知ってますか？ Do You Know?

生体は化学反応で生きている
酵 素 タンパク質 核 酸
▶ **ビタミン・バイオフィクター**

健康・長寿には ビタミン・バイオフィクター

◆公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会◆

2022(令和4)年度市民公開講演会

健診・人間ドックの結果を正しく理解し、 健康寿命を伸ばそう

日時 (令和5) 2023年 **3月25日(土)** 13時～16時30分

場所 **龍谷大学響都ホール** 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階

〈アクセス〉JR京都駅八条東口より徒歩約1分
(電車：地下通路経由で地下1階の出入口を入り左側の東エレベータで9階へ)

主 催 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会
協 賛 ビタミンB研究委員会、公益社団法人日本ビタミン学会
後 援 (厚生労働省予定)、京都府、京都市
世話人 大島 敏久 (協会会長、大阪工業大学客員教授、九州大学名誉教授)



参加費
無料

事前申込制、当日参加も可
先着順200名程度

プログラム

座長 吉村 徹 (協会業務執行理事、立命館大学上席研究員、名古屋大学名誉教授)

開会の辞 ● 13:00～13:10 大島 敏久 (協会会長、大阪工業大学客員教授、九州大学名誉教授)

講演1 ● 13:10～13:35 **検診・人間ドックを知って健康長生き**
南部 昭 (京都橘大学健康科学部臨床検査学科 准教授)

講演2 ● 13:35～14:00 **健診で予防できる病気、早期発見できる病気 ～健診センターを利用しよう～**
松浦 知和 (公益財団法人佐々木研究所附属湘南健診センター センター長)

座長 玉井 浩 (協会理事、大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所 顧問)

講演3 ● 14:00～14:35 **糖尿病とその対応**
今川 彰久 (大阪医科薬科大学医学部内科学Ⅰ 教授)

休 憩 (14:25～14:45)

講演4 ● 14:45～15:10 **がん薬物療法の最新の話題**
藤阪 保仁 (大阪医科薬科大学医学部内科学講座腫瘍内科学 教授)

座長 重岡 成 (協会業務執行理事、近畿大学 特任教授・附属農場長)

講演5 ● 15:10～15:35 **血管を守る：健診でわかる心血管系の老化リスク**
星賀 正明 (大阪医科薬科大学医学部内科学Ⅲ・循環器内科 教授)

講演6 ● 15:35～16:00 **遠隔医療の取り組み**
巽 謙太 (ニプロ株式会社総合研究所第3研究開発部 主席研究員)

閉会の辞 ● 16:00～16:10 植野 洋志 (協会業務執行理事、奈良女子大学名誉教授)

参加費無料、事前申込制 ※ただし当日参加も可

※新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、危険性が懸念されると判断した場合、開催の中止をさせていただく場合がございます。その際は、本協会ホームページ(<https://vita-bio.org>)等にて、ご案内いたしますのでご確認ください。

参加者募集 (定員200名程度 先着順)

参加ご希望の方は、① 御名前 ② メールアドレスを、E-mail(またはFAX)で3月15日(水)までに、下記申込先までご連絡ください。

公益社団法人 **ビタミン・バイオフィクター協会事務局** 〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4番地 日本イタリア会館3階

Tel / Fax : 075-751-5657 E-mail : vitamink@eagle.ocn.ne.jp

協会の成り立ち

1910年12月13日東京帝国大学の鈴木梅太郎教授が、米ぬかから脚気に効く物質を分離したことを発表した。翌年、ポーランド人のフンク博士がその成分にビタミンと名づけ、後にビタミンB₁と定義された。ビタミンの発見はこのビタミンB₁にはじまる。

我が国のビタミン(後にバイオフィクターを含む)の発展を支えるために協会が設立された。ビタミン・バイオフィクター協会は、個人・企業会員のサポートのもと、研究の発展の為の助成、知識の普及を目指した広報などの活動事業をすすめる公益社団法人である。

バイオフィクター(Biofactor)とは?

バイオフィクターは広義には、ビタミン、ビタミン様物質、必須微量元素、ホルモンなど、生命活動に必須の微量生体物質を指します。また、狭義にはビタミン以外の微量必須生体物質、例えばbiopterinなどのビタミン様物質や微量必須元素を意味することもあります。本協会の名称にある「ビタミン・バイオフィクター」は歴史的背景も勘案して「ビタミンを中心とする必須微量生体物質」を指しています。 ※バイオフィクターは、ビタミンと同義とする

沿革

- 1964 社団法人ビタミンB協会設立(京都大学医学部内) ビタミンB研究委員会に研究費・事業委託費の助成を開始 ビタミンB研究委員会のシンポジウムの開催が始まる(年1回)
- 1966 日本ビタミン学会への助成を開始
- 1967 国際ビタミン栄養会議開催助成
- 1970 社団法人ビタミン協会に改称
- 1971 ビタミンC委員会・脂溶性ビタミン総合研究委員会(ビタミンAD委員会)への助成を開始
- 2002 「ビタミンの日」講演会開催 (現:市民公開講演会)(年1回)
- 2010 公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会に改称・移行 ビタミン発見100周年記念フォーラム開催
- 2019 協会設立55周年

協会をサポートする法人会員

社団法人ビタミン協会創設当時から基金並びに年会費の提供などによって本協会を支えていただいている基本法人会員並びに一般法人会員

基本法人会員	エーザイ株式会社	
一般法人会員	味の素株式会社 アリナミン製薬株式会社 花王株式会社 河合製薬株式会社 月桂冠株式会社 小林製薬株式会社 第一三共株式会社 タマ生化学株式会社 東洋紡株式会社 ハウスウェルネスフーズ株式会社 株式会社ハンナ 株式会社ファーマフーズ フジパンググループ本社株式会社 三菱ケミカル株式会社大阪研究所 ロンザ株式会社	天野エンザイム株式会社 株式会社大塚製薬工場 株式会社カネカ キンキ・パートナーズ株式会社 神戸天然物化学株式会社 サントリウエルネス株式会社 株式会社ダイセル 東洋ナッツ食品株式会社 ニプロ株式会社 株式会社林原 備前化成株式会社 株式会社ファンケル 三菱ケミカル株式会社 山崎製パン株式会社 (50音順)

会員となって協会の活動を 応援してください!

法人会員

賛助会員

公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会は、創立以来半世紀余り、ビタミンを中心とする必須生体物質(バイオフィクター)に関連する科学的な研究・開発を支援して、私たちが心身ともに健康に生活でき、ひいては社会が平和で健やかに発展することを目指して活動してきました。かつて重要な疾病であったビタミン欠乏症は、近年の我国では、少なくなりましたが、ビタミンやバイオフィクターに関する新しい科学的知見が多方面で多数見出されており、また、医薬品や健康食品の生産、食品加工、食料・バイオマス生産、環境保全などの様々な産業への応用研究も進展しています。我国での健康で豊かな生活を支える重要な研究分野と考えます。

当協会の活動は、財政的にはいろいろな企業の法人会員や企業・個人の賛助会員に支えられています。新しい半世紀へ向けて、さらなる飛躍を目指し多くの皆様にご入会いただき、国民全体の健康福祉のために力強い前進を続けたいと考えます。趣旨をご理解いただき、是非、ご入会下さいようお願い申し上げます。

法人会員募集

<https://vita-bio.org/nyukai.html>



賛助会員募集

<https://vita-bio.org/sanjo.html>

1口 2,000円以上

賛助会員は、当法人の活動を支援していただける個人、事業主様などです。ご支援は寄付金扱いと致しますので、税制上の優遇措置が受けられます。



公益社団法人 ビタミン・バイオフィクター協会

〔代表理事〕 会長 大島 敏久

〔所在地〕 〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4番地 日本イタリア会館3階

事業活動

ビタミン及びバイオフィクターに関する
・研究助成、委託事業、国際会議助成など
・知識を普及する広報活動事業

委員会活動

・ビタミンB研究委員会
・ビタミンC研究委員会
・脂溶性ビタミン総合研究委員会
・環境・エネルギー問題検討委員会(新設)

事業目的

ビタミン・バイオフィクターは、微生物からヒトにいたるあらゆる生物の生命活動を支えるタンパク質や酵素などが正常に機能するために必要な物質です。ヒトの場合、生命と健康の維持に欠くことのできない栄養素で、健康増進、健康年齢や平均寿命の延長などに大いに役立っています。ビタミンやバイオフィクターの科学的な情報や知識の果たす意義は大きいものがあります。本協会は、ビタミンやバイオフィクターに関連する研究のさらなる飛躍を計る助成と、その成果を広く社会へ還元する事業を行っております。会員として、この有意義な社会貢献にお力添えをお願いいたします。